

(様式第 4 号)

上田市環境審議会 会議概要

1 審議会名	上田市環境審議会
2 日 時	令和 8 年 8 月 27 日 午後 1 時 30 分から午後 3 時 30 分まで
3 会 場	市役所本庁舎 4 階庁議室
4 出 席 者	土川哲志会長、西嶋治夫委員、島川清一委員、吉池卓司委員、上條和宏委員、北條作美委員、金沢美智子委員、町田龍一郎委員、田島忍委員、長田光正委員、堀内百合子委員、高橋一秋委員
5 市側出席者	【環境部】西澤環境部長 【環境政策課】中村課長、甲田環境保全担当係長、小口ゼ「カーボンシティ」推進担当兼環境保全担当係長、吉池ゼ「カーボンシティ」推進担当主査、財津環境保全担当主査、波多野環境保全担当主任、宮島環境保全担当主事 【ごみ減量企画室】小平室長補佐 兼 ごみ減量企画係長 【廃棄物対策課】久保井リサイクル推進係長 【サービス課】片上課長補佐 兼 給排水係長 【下水道課】清水下水道維持担当主査 【交通政策課】白井交通政策担当係長 【森林整備課】松澤課長補佐 兼 林業振興担当係長 【都市計画課】小林課長補佐 兼 公園緑化景観担当係長、清水調査計画担当主査 【農地整備課】小林課長補佐 兼 土地改良担当係長 兼 管理計画係長 【農業政策課】深井課長補佐 兼 農業振興担当係長
6 公開・非公開	☒ 公 開 ・ ☐ 一部公開 ・ ☐ 非公開
7 傍 聴 者	0 人
8 会議概要作成年月日	令和 8 年 9 月 1 日
協 議 事 項 等	

1 開会	
2 あいさつ	
3 議事	(1) 令和 8 年度環境レポート（令和 7 年度実績）の報告 ・資料に沿い、事務局から概要説明 ・以降、協議 (委 員) 環境レポート本編 16 ページ「iii-2-01 上田市関係機関からの温室効果ガス総排出量」に載っている数値について、上田市全体の排出量データは載ってこないのか。 (事務局) 環境指標値は、上田市の市有施設に限った資料になっており市全体の排出量データは載せていない。 (委 員) 市全体の排出量データがわからないと、今後どのように対策・活動していけば良いか中々見えてこない。また、上田市地球温暖化対策地域推進計画の数値についても、2019 年までのものになっているが、以降は測定しているのか。 (事務局) 上田市地球温暖化対策地域推進計画の進捗状況については、次回の環境審議会で報告を予定している。また昨年時点までの数値は市のホームページで公表されている。 (委 員) 温室効果ガスの排出量値について、市全体と民間の値で比較した場合どのくらい違うのか。 (事務局) 上田市地球温暖化対策地域推進計画 33 ページにおいて、2013 年の上田市からの排出量基準値が 116 万 6000t、2030 年では 49 万 8000t となっているが、この値と比べると今回の上田市の値は 2 万 4000t となるので、事業所として占める値はその差になる。

- (委 員) 環境レポート本編 16 ページ「iii-2-02 市有施設への再生可能エネルギー設備導入量」について、来年度達成できるか否かがそろそろ見えてくると思うが、今年度はやはり厳しいのか。
- (事務局) 6月の補正予算を取り、別所にある「あいそめの湯」について導入可能性調査を進めている。そちらで導入可能性があるということになれば、令和 10 年の導入に向けてにはなるが進めていく状況。
- (委 員) 環境レポート本編 14 ページ「ごみ」についての数値は資源循環になっていることを示す値になっているのか。また、小諸市では、ごみを資源化して肥料にするということを行っているようだが、上田市では行っていく予定があるのか。
- (事務局) 丸子に生ごみの堆肥化施設を建設して有効に利用していけるような事業を進めてきているところではあるが、現在は見合わせている状況。
また、有用な堆肥を地域で循環させるという目標のもと、現在は目標に向けて精査をしている状況なため、「循環」という面では欠けてしまっている。今後の時期計画の中では、そういった目標も立てていけるよう努めていく。
- (委 員) 環境レポート本編 2 ページ「i-1-03 市内路線バス等の輸送人員」について、運転手の確保は上手くいっているのか。また、菅平エリアでは利便性を考慮し、大幅に時間や路線を変更した経過があるがその効果はどのくらい出ているのか。
- (事務局) 昨年 10 月より上田市と青木村で利便増進事業実施計画において第一認定を受け、利便増勢に向けてバスの最終時間の延長（現在は 19 時 55 分→10 月より 21 時）等に取り組んでいる。菅平エリアにおいては、裏太郎の方まで延伸させ利便増進に向けて取り組んでいる現状。
環境レポート本編記載の利用者数について以下のとおり訂正。
【2023 年】（誤）101 万 3000 人→（正）97 万 3000 人
【2024 年】（誤）97 万 1000 人→（正）93 万人程度
※令和 6 年度は運転手不足が問題となり利用者数も減。
令和 6 年度から 7 年度にかけては微増しているが、運転手不足は現在も深刻な問題であり、市としても地域のバス会社やハローワークと就職説明会を開催している状況。
- (委 員) 費用対効果や運転手の確保をお願いしたい。
- (委 員) 環境レポート本編 12 ページ「ii-3-01 認定農業者数」について、認定農業者を継続していくことに非常に手間がかかっており、この制度自体を見直すことが必要だと思う。検討を進めていただきたい。
- (事務局) おっしゃるとおり。今後は市の問題だけではなく、広く農業をしている方からのご意見をいただいて進めていく。
- (委 員) ニワウルシ（シンジュ）が凄まじく、年々環境負荷が大きくなっていると感じるが、切るにしても保有者に予め許可を得る必要があるのか。また、切った木のバイオマスボイラーへの活用について、切った木を運び出すことは中々大変なことではないか。
- (事務局) 病虫害の駆除という扱いになるので、切ることに所有者の許可は不要。
また、自治会で松くい虫への抵抗を持った苗木を配布したり、冬には薬剤を使って松くい虫に感染しても枯れないような樹種転換等を行い対策している。
切った木のバイオマス活用についてはやはり費用が発生してくるため、県の補助事業を使って一部の枯れてしまった赤松を切り出し、東御市にあるバイオマス発電施設に持ち込み、発電のチップとして使っている状況。
- (委 員) ニワウルシについてはどうか。
- (事務局) 現状具体的な対策が取れていない。具体的な施策を早めに検討していきたい。
- (委 員) 環境レポート本編 8 ページの森林と里山について、主伐の面積、或いは再生林できた面積の継続的なモニタリングが必要になってくるのではないかと思います。また、第三次上田市環境基本計画策定時の課題になると思うが、これからの主伐・再生林に適した環境指標の見直しについても大事になってくると思う。そういった方向性を見据え

- つつ、今現在は進みつつあるのか。
- (事務局) まだ1桁台ではあるものの主伐・再造林を少しずつ進めている現状。指標の見直しについては目標に達することは難しいが、主伐・再造林の面積を指標に加え成果(数字)として上げていきたいと考えている。
- (委員) 環境レポート本編 24 ページ環境教育について、環境教育は学校教育において行われる教育と、行政が支援していくような生涯教育としての環境教育の2つが大きな軸となっていくことが重要であると思うが、これら2つが政策全体の中でどのように切り分けられている、或いは連携していくのかが資料からでは不透明に感じた。また、本編「V-1-02 野外活動体験」がどういった活動なのか中身が分からなかった。上田市は自然環境を取り上げて非常に多様であり、環境学習においても上田市の独自性が重要になってくるのではないかと思うので、ごみの循環利用や地球温暖化対策等のそれぞれについての環境学習教育が実施されるべきと思うがどのように考えているか。
- (事務局) 野外活動でいうと、市民の森でのキャンプ体験や稲倉の棚田での農業体験等も実施しているが、子どもだけではなく、行動変容に繋がるような大人向けの環境教育を盛り込んでいけるよう広い目線で捉えていきたい。
- (委員) 環境レポート全体について、数値の増減理由が読めばわかる部分とそうでない部分が分野によって異なっているため大きく見直すポイントなのではないかと感じた。また、表の結果の解釈として、基礎的な情報が提供されることが重要ではないか。施策全体の目標→目標に対する環境指標についてモニタリング等を行っているというような繋がりが理解できるような文章になっていくと読んでいる人も解釈しやすいのではないかと思う。
- また、環境レポートのデータ量が膨大であり、全体の傾向を読み取ることにより時間を費やしてしまう。そのため、昨今の傾向等がわかる概要が1ページあることでより多くの方々が理解していただけるのではないかと思う。
- (事務局) 検討していく。

(2) 第三次上田市環境基本計画策定に係る基本的な考え方について

- ・資料に沿い、事務局から概要説明
- ・以降、協議

- (委員) 脱炭素先行地域はどこに位置付けされるのか。
- (事務局) 上田市地球温暖化対策地域推進計画に位置付けるものになる。
- (委員) 今後の令和8,9年の計画に記載があるアンケート調査について、このアンケートは上田市地球温暖化対策地域推進計画に載っているアンケートと連動した内容なのか。
- (事務局) 連動はしていない。第三次上田市環境基本計画の指標をもとに、上田市地球温暖化対策地域推進計画でアンケートを取るという流れになっている。
- (委員) アンケートを継続して行っていく予定はあるのか。
- (事務局) 継続するか否かについて、現段階では検討中。今後必要だと判断されれば改めてアンケートを実施していく。
- (委員) 策定にあたっての前提条件に「人口減少社会に対応した計画」と記載があるが、計画を策定していくにあたって、今現状の上田市の規模で考えていくのか、或いは何年後かの減少した規模感で捉えていくのか。
- (事務局) 第三次上田市環境基本計画と整合を図っていくものになるため、検討し計画に反映させていく。
- (委員) 現状の上田市の規模感を維持しようとすると、少ない人数でエネルギーを使うため環境負荷が生じてしまう。整合性を取りながら進めてほしい。

- (委 員) 「生物多様性の保全」が昨今注目されており、2030 年までに実現させていく「30by30」を国としても掲げている中で、上田市の生物多様性に関する施策は弱い（追いついていない）ような印象がある。一方で、安曇野市では市としてのデータリストやデータブックを作成している。上田市でもぜひ検討していただきたい。
- (事務局) おっしゃるとおり。自然共生サイトに市内で3つ認定されているにも関わらず有効に活用できていない。市としての体制作りを検討していきたい。
- (委 員) 上田市地球温暖化対策地域推進計画 56 ページ「サプライチェーンの排出量削減の促進」について、このサプライチェーンに対して市はどのように関わっていくのか。
- (事務局) 答えを持ち合わせていないため後日回答する。
- (委 員) 第三次上田市環境基本計画策定に当たり、上田市としての一体感の醸成が重要と考える。部署ごとで目標数値を自ら設定していけるような取り組みを第三次上田市環境基本計画に盛り込んでいただきたい。
- (事務局) 持続性のあるものとなるよう他部署で連携を図っていきたい。

4 事務連絡等

5 閉会